

第2期 仙台市教育振興基本計画

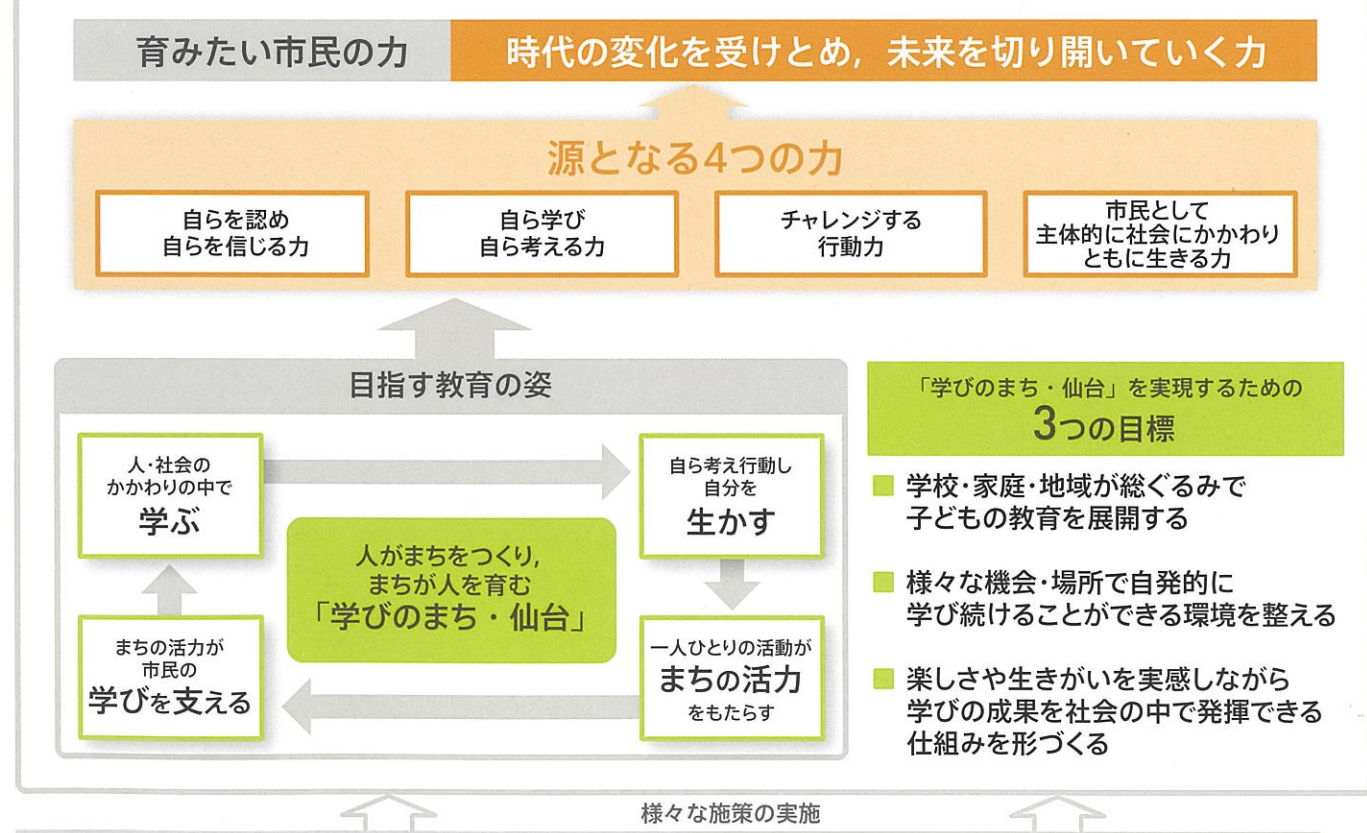
概要版

策定の趣旨

- **第1期計画の推進**
仙台市教育委員会では、教育基本法第17条に基づき、平成24年3月に仙台市教育振興基本計画を策定し、目指す教育の姿「人がまちをつくり、まちが人を育む『学びのまち・仙台』」の実現のため、教育行政を推進してきました。
- **教育をめぐる現状等**
この間、東日本大震災からの復旧・復興とともに、地域総ぐるみで学びを展開する体制づくりを進めるなど、目指す教育の姿の実現に向けた成果が現れつつある一方で、本格的な人口減少社会の到来やICT環境の著しい進展といった社会情勢の変化に加え、本市においていじめの問題を背景とした自死事案が発生し、最優先に対応しなければならない課題となるなど、本市の教育を取り巻く環境は大きく変容しています。
- **国の動向等**
また、国においては、第2期教育振興基本計画を策定するとともに、いじめ防止対策の法制化や教育委員会制度の見直しなど様々な教育制度改革が実施され、本市においても平成27年12月に「教育の振興に関する施策の大綱」が策定されました。

このような状況を踏まえ、目指す教育の姿の実現に向け、平成29年度から33年度までの5年間の施策の方向性を示す「**第2期仙台市教育振興基本計画**」を策定しました。

目指す仙台の教育の姿



第1期 平成24年度～28年度

第2期 平成29年度～33年度

第2期計画における基本的方向

目指す仙台の教育の姿の実現に向け、基本的方向を4つに分類するとともに、仙台独自の取り組みや特色ある施策を「仙台カラー」と位置づけ、その中でも「仙台ならではの」の6つの施策を今後5年間で重点的に推進します。

【構成のイメージ】



仙台ならではの学びを、次世代へ。「仙台カラー」をより色濃くする**6**つの重点施策

カラー **1** **命と心を守り育む教育**

- 命を大切にする教育を進めます。
- 心の健康教育を推進します。
- 教職員がより子どもに向き合える体制づくりを進めます。

いじめ問題や自死、震災後の心のケアの重要性から、命を守り、心を育む教育を推進するとともに、子どものより良い学び・豊かな教育環境を創出するため、これまで以上に教職員が子どもに向き合える体制づくりを進めます。

カラー **2** **未来に向けた「仙台自分づくり教育」**

- 企業とともに子どもの勤労観・職業観を育みます。
- 未来に向けた子どもの夢や力を育む学びを進めます。

人や社会の関わりを大切にしながら、社会的・職業的に自立し、たくましく生きる力を育むため、仙台版キャリア教育「仙台自分づくり教育」を一層推進します。

カラー **3** **安心を創る「仙台版防災教育」**

- 震災の教訓を未来へ引き継ぎます。
- 災害に負けないたくましい子どもを育てます。

震災直後から取り組んできた本市独自の防災教育を一層推進します。

カラー **4** **連携・協働により広がる「地域とともに歩む学校づくり」**

- 地域・家庭と学校の連携・協働の体制づくりを進めます。
- 学校支援地域本部の充実を進めます。

学校・家庭・地域が一体となって子どもを育む体制づくりを一層推進します。

カラー **5** **アート・学びによる地域発見プロジェクト**

- アートプロジェクトによりまちの魅力と活気を引き出します。
- 「ミュージアム」における多面的な学びの機会を創出します。

アートの持つ力や様々なミュージアムが持つ魅力を生かしながら、新たな学びの機会の創出や地域人材の育成を進めます。

カラー **6** **伊達な歴史・伝統文化による魅力発信プロジェクト**

- 「政宗が育んだ“伊達”な文化」の魅力を発信します。
- 市民や観光客が親しみ楽しめる仙台城跡の活用を進めます。

仙台藩祖伊達政宗公によって生まれた独自の伝統文化やその歴史の効果的な発信・活用を進め、地域の活性化を図ります。

「仙台ならではの」施策の推進「仙台カラー」

- **資源豊かなまちに育まれてきた「仙台ならではの」教育**
市内各所にある市民センターや昭和24年から続く社会学級における活動、学校や社会教育施設におけるボランティアをはじめとする市民主体の多様な活動は、城下町という由緒ある歴史の中で育まれた独自の文化や伝統、豊かな自然、多くの大学や企業の集積などの多様な資源によって生まれ、着実に広がりを見せています。
こうした資源や人材・活動を学びの資源としてさらに生かし、本市における新たな課題や社会環境の変化も踏まえた取り組みを一層進めることが求められています。
- **教訓を契機として生まれた「仙台ならではの」教育**
未曾有の被害をもたらした東日本大震災から私たちは多くの教訓を学び、復興の取り組みを通じて貴重な経験を得ました。このことを決して忘れてはならず、本市独自の防災教育により、後世の子どもたちに伝えていかなければなりません。
また、いじめを背景として生徒自らが尊い命を絶つという痛ましい事案が起き、集中的かつ総合的な対策によりいじめ防止に全力で取り組んでいますが、二度と悲しい事案が起きることのないよう、いじめのない学校づくりを目指し、さらにこの歩みを進める必要があります。
- **地域とともに歩む「仙台ならではの」教育**
「学校支援地域本部」の全市展開により、地域ぐるみによる学校教育活動への支援体制が確立され、地域の人材を生かした豊かな授業づくりや体験活動の充実、学校を介した交流の広がりも見られます。今後も本市独自の制度である「嘱託社会教育主事」の活用や、地域の特色を活かした活動を展開している「放課後子ども教室」の充実を図りながら、「地域とともに歩む学校づくり」を推進していく必要があります。
- **「仙台ならではの」教育を「仙台カラー」として次の世代へ**
これまで積み重ねてきた仙台ならではの教育は、「仙台カラー」として次世代にも受け継ぎ、進めていきたい取り組みです。こうした様々な「仙台カラー」の取り組みの中で、今後5年間は6つの施策を重点的に推進していきます。